



進路だより

令和 8 年 9 月 15 日
京都市立東総合支援学校
進路指導担当
NO.3

夏休みが明け、児童生徒たちは日々の学習や活動に意欲的に取り組んでいます。今回の進路だよりでは、①みやこめっせでの就労移行支援事業所合同説明会、②夏季教職員施設見学会、③各学部の進路の取組について紹介します。

①就労移行支援事業所合同説明会が行われました

7月30日、京都市勧業館みやこめっせにおいて「就労移行支援事業所合同説明会」が開催されました。京都市内を中心とした多くの就労移行支援事業所が参加し、高等部生徒や保護者、教職員が各ブースで説明を聞きました。

各事業所からは、活動内容や就職に向けた支援、進路状況などについて詳しい説明がありました。参加した生徒や保護者の皆様にとって、将来の生活や働くことについて具体的に考える貴重な機会となったことと思います。

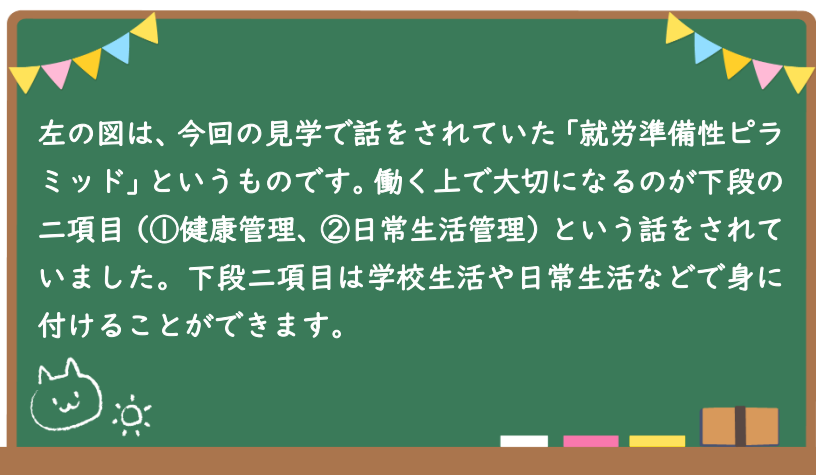
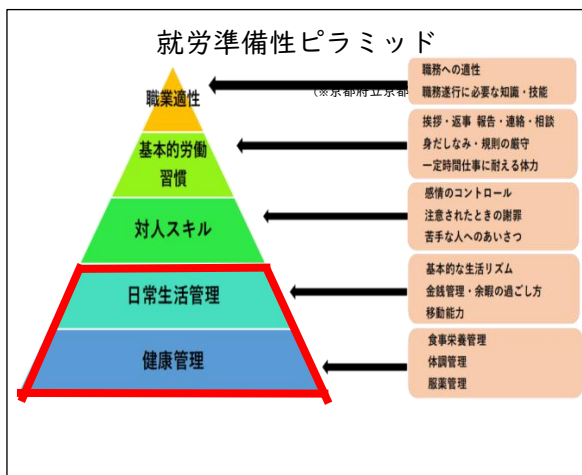
また、卒業後の進路先を考えるうえで、事業所の方から話を聞いたり質問したりする経験はとても大切です。今後の進路選択に向けて、今回の説明会で得た情報をぜひご家庭でも話題にいただければと思います。ご参加いただきました保護者の皆様ありがとうございました。

②教員による事業所見学

本校では、児童生徒一人一人に応じた進路指導の充実を図るため、夏季休業期間を利用して教員による福祉事業所等の見学を実施しています。

今年度は、京都府立京都高等技術専門校(職業訓練校)と第3乙訓ひまわり園を見学させていただきました。見学では、日々の活動内容や利用者の様子、卒業後の支援体制などについて説明を受けるとともに、実際の作業の様子を見学しました。見学を通して、卒業後の生活や進路先で求められる力について理解を深めるとともに、学校での学びや生活とのつながりを改めて考える貴重な機会となりました。

今後は、見学で得た情報を個別懇談会や進路学習などに活用し、児童生徒の進路選択に役立ててまいります。引き続き、関係機関との連携を深めながら、よりよい進路選択に努めてまいります。



③各学部の進路の取組

進路とは、卒業後の進学先や利用する事業所、生活の場を選ぶことではありません。

小学部からの学校生活の中で、見る・聞く・触れる・嗅ぐ・味わうといった五感を使った豊かな体験を重ねながら、人と関わる力や自分の思いを伝える力、自分で考えて行動する力を育てていくことが進路学習の基盤となります。

日々の学習や生活の一つ一つの経験が、将来の自立と社会参加につながっています。



※進路だより NO.1 で紹介した図より

スクールバスに乗る



役割を果たす



先生・友だちと関わる



挨拶



最後まで取り組む



先生の話聞く



集団で活動する

